

毎日新聞

2020年3月28日付 地方版 22面掲載

補助金の担保OK

岡山市
受注業者買金繰り 新仕組み導入

岡山市は27日、市の事業を受注した事業者が得意先向け取る補助金や委託料を担保に金融機関から買金を借りられる仕組みを、全国の自治体で初めて導入すると発表した。大森雅

夫市長は「新型コロナウイルス騒動のなか、資金繰りが大変な中小企業が多いと思う。そういう意味でも大きな効果が見込まれる」と話した。これまでは交付決定

から補助金や委託料を受け取るまでに数カ月かかり、この間のつなぎ資金が必要だったが、今後は金融とITを融合した「フィンテック」を手がけるオンラインサックス(東京)が、事業者向けに電子債権の作成を支援。受注の事実と内容を電子記録

から資金調達が可能になる。同社と連携する中国銀行VBS、島根銀行V商工組合中央金庫と取引する事業者で使うことができる。取り扱い開始は4月1日から。大森市長は「企業への融資が早まる」とし、効果が広げられる。市の経済全体にとってメリットになる」と話

【森川豊平】